



名古屋名駅ロータリークラブ
承認：1991年4月17日
例会日：水曜日 12:30～
例会場：名鉄ニューグランドホテル

会 長：笹谷俊道
副 会 長：加藤定伸
幹 事：岩井孝真
クラブ会報：森 美穂

2021-22 年度 R.I. 会長
シェカール・メータ

●名古屋名駅ロータリークラブ 事務局：TEL.052-453-0808 FAX.052-453-0800 E-mail: meiekirc@f5.dion.ne.jp http://www.nagoya-meiekirc.com

第1404回例会 (カレー)

外部卓話例会

いつまでも血管の健康を！

2022年1月26日(水)

(令和4年) 晴 No.22

□ 司会 石川仁志 会場運営委員

□ ゲスト紹介

日本赤十字社愛知医療センター

名古屋第一病院 院長 錦見尚道先生

□ 出席報告

会員総数83名(免除者13名)

義務者出席54名(内 Zoom: 3名)

免除者出席6名 総数60名 出席率78.95%



会長あいさつ

笹谷俊道会長

本日は名古屋第一赤病院の錦見尚道院長にお越し頂いています。卓話を楽しみにしております。また、西川達郎先生には大変お世話になり、誠にありがとうございます。

さて、第166回の芥川賞と直木賞が決定しました。授賞式は年2回あり、上期は昨年7月14日、下期の今回は1月19日に発表されました。芥川賞と直木賞は文藝春秋社の社長だった菊池 寛が1935年(昭和10年)に創設した文学賞です。

芥川賞の芥川龍之介は「羅生門」「蜘蛛の糸」などの作品で有名です。ジャンルは純文学です。ですから大変読みごたえがある作品ばかりです。直木賞の直木三十五はペンネームが面白く、三十一から始まり、三十二、三十三と来て三十四を飛ばし三十五で落ち着いたということです。映画「水戸黄門」の原作になった「黄門廻国記」を著しております。ジャンルは娯楽小説です。ということで、芥川賞は純文学、直木賞は娯楽小説から選ばれております。

今回の芥川賞受賞作は砂川文次さん(31歳)の「ブラックボックス」です。前半は自転車便の1日をリアルに描写し、後半は主人公が獄中にある数年間を描いた作品だそうです。じっくりと時間をかけて

読みこなしたい本です。

直木賞は異例となる歴史小説2つのダブル受賞となりました。米沢穂信さん(43歳)の「黒牢城」と今村翔吾さん(37歳)の「塞王の楯」です。米沢さんは岐阜県高山市出身。受賞作の「黒牢城」は戦国時代の籠城戦のミステリー作品です。そして、今村さんは滋賀県大津市在住。ホテルから授賞式の記者会見場まで人力車で行ったというユニークな演出が話題になりました。「塞王の楯」は石工集団と鉄砲鍛冶集団の戦いを描いた作品だそうです。休日にワインを横に置いて読んでみたいと思っています。

□ 幹事報告

岩井孝真幹事

- (1)和合RC50周年・東山RC25周年記念事業として開催される「キックオフコンサート」のチケット購入希望者は本日中午に事務局にご連絡下さい。
- (2)皆様のメールボックスへ名簿シール(修正4名・新会員1名/各2枚)をお入れしました。
- (3)本日例会後、第7回理事会を開催します。

外部卓話

◇ 紹介

西川達郎さん

錦見先生は地元の頼りになる基幹病院の院長として重責を担っておられますが、大変気さくな先生です。我々の親クラブ・名古屋西RCの会員でもいらっしゃいます。昨年度の山本裕三会長と加藤友康

2月は平和と紛争予防/紛争解決月間です

< 例会開催予定 >

◇第1405回2月2日(水) 通常例会(和食弁当)

誕生日・結婚記念日祝福

「ロータリーの友」2月号配布

「ロータリーの友」「ガバナー月信」紹介

2月9日(水) 休会 定款第7条第1節(d)(1)取消

◇第1406回2月16日(水) 通常例会(カレー)

R.I. ネットワーキング・奉仕グループ委員

地区ロータリー財団委員会 副委員長

福田哲三さん(名古屋和合RC) 卓話

【ゲスト】米山奨学生 プイティホアさん

【例会後】第8回理事会

幹事と私で寄付金の目録をお持ちした時に卓話をお願いし、コロナ禍の中、今回やっと実現しました。

錦見先生は昭和55年に名古屋大学医学部をご卒業。群馬県桐生厚生総合病院、名古屋大学医学部附属病院、アメリカのコロラド大学、ノースキャロライナ大学、東海病院などを経て、平成17年より名古屋第一赤十字病院に勤められ、31年に同病院院長に就任されました。それでは、宜しくお願いします。



「よくみられる血管の病気」

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院 錦見尚道院長

名駅RCの皆様には昨年多額の寄付を頂き、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

私の父は産婦人科医を開業しており、矢場町の少し南、赤門通に住んでいました。錦三丁目も通学路でした。大学卒業まで名古屋の真ん中でしか暮らしていなかったの、卒業後は名古屋大学の関連病院の中で一番遠いところへ行こうと思って群馬県の桐生厚生総合病院に行きました。そこの部長が血管外科で、私も血管外科を志すことになりました。今日はその血管外科のお話をさせていただきます。

血管の異常には形の異常と構造の異常があります。形の異常には、1つは圧によって血管が膨らんで割れ目が入ったり破裂したりするものがあります。一方、コレステロールなどが溜まって血管が狭くなるものがあり、最後は詰まってしまいます。

構造の異常としては、高血圧などで血管の壁が壁紙のようにベロツと剥がれることがあります。それが進むと動脈解離になります。また、静脈には血液の逆流を防ぐ弁があり、心臓に向かって一方に血が流れるようになっていきます。ところが、弁のつけ根が広がったり弁が傷んだりすると、血が行ったり来たりするだけで一方に流れなくなります。

つまり、血管の異常は、①血管が広がる(拡張)、②血管が狭くなる(狭窄)、③特別な機能が消失する(動脈の壁の構造が壊れる、静脈の弁が機能しなくなる)に分けることができます。

血管が詰まる慢性閉塞症がよく発症するのは足のつけ根から膝の部分です。ただし血管が詰まっても細かい脇道が発達してバイパスのようになり、症状が非常に軽く済んでいることもあります。

慢性動脈閉塞症の段階は、①詰まっても何も気にならない(無症状)。②脇道の細い血管は一度に沢山の血が送れないので、歩くとふくらはぎの筋肉が痛い(間欠性跛行)。運動した時に痛くなるのは血管の病気です。ひどくなれば、③じっとしていても痛い(安静時疼痛)、④足が腐る(潰瘍、壊死)となります。5年生存率は間欠性跛行で健常の人の70%程です。血管が傷んでいる人は早く死にやすいということです。しかしそこまで命取りの病気とはあまり知られていません。ふくらはぎの張りや痛みなどがあれば疑ってみることが大事です。

治療としては、禁煙や糖尿病の管理は当然必要で

すが、おすすめは運動療法です。足が痛くなるまでに電信柱何本分歩いたかを数えておき、足が痛くなるまでの距離が短くなってきたら薬物療法や手術をするということです。毎日歩くと早い時期に気づくことができ、脇道も発達し治療にもなります。

次に動脈が膨らむ動脈瘤についてです。動脈が膨らむのは胸やお腹の中にある太い動脈が多く、胸の中が2割、お腹の中が8割だと言われます。痩せている人だと触診などだけで大動脈瘤があると分かりますが、お腹がでっぴりした人は分からないことが多いのでCTやエコーの検査が必要です。初期は自覚症状がないので3~5年に1回、単純CTや超音波で検診をされたいかかと思えます。

大動脈も破れることがあります。後腹膜という薄い一枚の膜が破れてしまうと腹腔内に血が出て、亡くなってしまうことがほとんどです。

動脈瘤の手術では、膨らんでいるところをY型の人工血管で置き換えます。また、セントグラフトというお腹を開けないカテーテル治療もあります。バネの力によって壁に押しつけるようにするもので、2007年に厚生省の認可を受けてから急激に増え、今は年間6万例近く行われています。

次に静脈瘤についてです。40歳以上の女性の70%には多かれ少なかれ静脈瘤があると言われます。静脈は下から心臓に向かって血液が流れています。人間は立って歩く生き物ですから1m以上血液を上げる力が必要なのですが、その働きの多くはふくらはぎの筋肉が担っています。一歩歩くたびにふくらはぎが深部の静脈をぐっと圧迫することによって血液を心臓に戻す訳です。弁がしっかりしていれば逆流せず心臓の方に順調に血液が戻っていきませんが、弁が悪いと行ったり来たりするだけとなります。立っていると1mくらいの水の圧がかかって表面の静脈が膨らんでくるというのが静脈瘤です。

静脈瘤は気にならなければ放置しておいてもいいです。しかし、ひどくなると皮膚に色がついてきたり、血の塊ができるのを何回も繰り返すと皮膚が硬くなったりしますので、皮膚・脂肪硬化が起きたら治療すべきだと考えています。足の静脈瘤は、弁が壊れて静脈に逆流が起きて広がりますので、対策には弾性(圧迫する)ストッキングがおすすめです。

もう少し詳しい話が知りたいという方は、「あいち健康ナビ」で検索して頂けると15分程の動画がありますのでご覧頂ければと思います。

ニコボックス

- 名古屋第一赤院長の錦見尚道先生のお話を楽しみにしています。西川達郎先生、ありがとうございます。(笹谷俊道さん)
- 錦見先生、本日卓話楽しみにしています。宜しくお願いします。(岩井孝真さん)
- 先週も麻雀で勝ってしまいました。今年は調子がいいな。(日比野三吉彦さん)
- コロナ、オミクロン株対応で大変な中、第一赤・錦見病院長には卓話を頂き、日赤有功会会員として感謝申し上げます。(神野重行さん)
- 錦見先生、本日は卓話ありがとうございます。(西川達郎さん)
- 錦見先生を歓迎して。(寺島洋治さん)
- 21回目の結婚記念日に感謝して。(遠藤貴裕さん)